

<参考>

LED証明の利点

- ◆省エネ
- ◆水銀レス
- ◆長寿命
- ◆ON/OFFに強い
- ◆すぐに明るい
- ◆虫が集まりにくい
- ◆低UV・低紫外線
- ◆低CO2

事前に調査しておく項目

- ◆現状器具の実態（メーカー、製造年月日、型番 等）
- ◆色目、照度、コントラスト
- ◆価格（器具、管球）
- ◆消費電力（電気代）

切替え方式別比較表

		LEDランプ使用			
		現行照明器具(蛍光灯用)利用方式		照明器具本体取替方式	
		電源工事不要タイプ (管球のみ交換)	要電源工事タイプ 安定器交換型	安定器不使用工事型	
施工規模		小規模	中規模以上		
蛍光灯器具の使用状況		10年以上は不敵	古い(15年超)器具は不敵		
設置可能場所		安定器の種類により異なる(適合しないケース有り)	現行灯具の詳細調査が必要→改造の可否・工事種別・工事方式を検討		用途に応じて機種選定可能、調色・調光も可能
	使用制限	非常灯、誘導灯、密閉型(密閉に近いもの含む)、防水型ならびに調光式は不可			
使用する安定器(電源回路)		蛍光灯用安定器+管球内電源	専用電源	管球内電源	専用電源
管球	重量	重い	軽量	重い	軽量
	口金	蛍光灯形式(G13)			LED専用規格
	放熱性	やや悪い	良好	やや悪い	良好
蛍光灯との併用		可能	不可(危険)		
消費電力(ランニングコストに影響) 現行蛍光灯との比較		△	◎		◎
		75%~80%	50%~65%		
その他の維持費		安定器の交換費用	器具の劣化→交換費用、安定器の処分費用		不要
		安定器・灯具の製造年等により部品交換不可の場合有り…新品対応			
初期投資(製品代)	照明器具				高い
	管球	より高い	高い	より高い	高い
工事	器具改造工事				
	器具取付工事				簡便
	内装工事				場所・器具により発生
安全性		△(安定器)	○		◎
寿命	器具	△(反射板・ソケットの劣化…反射効率ダウン・落下・通電不良)			◎
	安定器	△	○		◎
	管球	○			◎
管球落下防止装置		装着が望ましい			不要
工事(器具改造)済シール		不要	必ず貼付(誤使用防止)		不要
メーカー製造元		管球メーカー、部品メーカー(海外製多い)			国内家電、照明器具メーカー
保障		管球のみ	管球および短期間の工事保障のみ		器具、管球ともメーカー保障
			器具改造による不具合は製造業者の責任外		

高効率蛍光灯使用
器具取替タイプ
高効率蛍光灯
Hf蛍光ランプ
全範囲
用途に応じて機種選定可能
専用インバーター
軽量・細管
蛍光灯形式(G13)
不可
△
65%~85%
不要
やや高い
安い
簡便
場所・器具により発生
◎
◎
○
△
不要
不要
国内家電、照明器具メーカー
器具、管球ともメーカー保障

概算費用 <定価> 40W2灯 (税別)	管球	(10,000~18,000) × 2		(10,000~13,000) × 2	(1,500~2,000) × 2
	器具	0		16,000~26,000	15,000~20,000
	工事費	0	10,000~15,000	10,000~20,000	10,000~20,000
	合計	20,000~36,000	30,000~51,000	46,000~72,000	27,000~44,000